



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月7日

上場会社名 ダイトウボウ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 3202 URL <http://www.daitobo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山内 一裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 三枝 章吾

TEL 03-6262-6557

四半期報告書提出予定日 2022年11月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,945	0.4	90	5.2	0		2	55.4
2022年3月期第2四半期	1,938		95	72.0	6		4	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 7百万円 (74.0%) 2022年3月期第2四半期 27百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	0.07	0.07
2022年3月期第2四半期	0.16	0.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	20,509	4,656	22.6
2022年3月期	21,113	4,646	21.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 4,636百万円 2022年3月期 4,629百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	6.6	320	29.2	140	62.8	160	273.5	5.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	30,177,000 株	2022年3月期	30,177,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	105,588 株	2022年3月期	105,562 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	30,071,431 株	2022年3月期2Q	29,894,438 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。今後の新型コロナウイルス感染症の影響や内外の経済情勢の変化による市況の変化等、様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安の進展に伴う輸出型企業の業績拡大や新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和の効果などから全体として景気は緩やかな持ち直しを続けました。一方で、新型コロナウイルス感染症第 7 波による感染者急増の影響や円安・資源高の進展に伴う国内消費者物価の上昇が消費を下押しするリスクや、輸入型企業の利益を圧迫するリスクなどもあり、十分注意を要する状況が続きました。

このような中で、当社グループは、「中期経営計画ブレークスルー2024 ～PROGRESS IN THE NEW NORMAL～」に基づき経営諸課題に取り組みました。

商業施設事業におきまして、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、7 月に全国初の幼魚水族館をオープンし地元マスコミにも繰り返し取り上げられるなどの宣伝効果や、開業25周年となったことを弾みにゴールデンウィークや夏休みの販促や地域密着型の運営を一段と強化し集客力アップに努めました。ヘルスケア事業におきましては、展示会販売など対面営業を中心とする業態の回復に遅れが見られ、特に主要マーケットである東京地区において苦戦しました。繊維・アパレル事業におきましては、中国の上海現地法人において円安効果もあり前年同期比で売上が伸びましたものの、市況回復の鈍い国内アパレルOEM関係が苦戦しました。

この結果、当第 2 四半期連結累計期間の業績は、売上高は19億45百万円(前年同期比0.4%増)の増収となりましたものの、営業利益は90百万円(前年同期比5.2%減)、支払利息などを加味した経常損失は0百万円(前年同期は経常利益6百万円)になりました。これに、法人税等の負担を考慮した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は2百万円(前年同期比55.4%減)と黒字は確保しましたものの前年同期比減益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(商業施設事業)

商業施設事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、最盛期の夏場に新型コロナウイルス感染症の第 7 波の影響がありましたものの、政府の行動緩和を背景とした持ち直しの動きもあり、開業25周年を契機としたゴールデンウィーク商戦や夏休みイベントに注力したことや、7 月にオープンした全国初の幼魚水族館の効果などにより、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、商業施設事業の売上高は10億80百万円(前年同期比1.5%増)となり、利益率も改善した結果、営業利益は4億2百万円(前年同期比6.4%増)と前年同期比で増収増益となりました。

(ヘルスケア事業)

健康ビジネス部門につきましては、当社独自技術のバイオ麻商品や旧和田哲グループが取り扱う東洋紡の技術を生かした健康寝具が売上を伸ばしましたものの、一部市況回復の遅れの影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。一般寝装品部門につきましては、対面営業の業態の回復遅れや羊毛関連の受注減少が響き、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、ヘルスケア事業の売上高は4億90百万円(前年同期比17.6%減)、営業損失は26百万円(前年同期は営業損失7百万円)となりました。

(繊維・アパレル事業)

衣料部門につきましては、国内アパレルOEM事業が苦戦しましたものの、中国現地法人が引き続き好調を維持したため、売上高は前年同期を上回りました。ユニフォーム部門につきましては、官需ユニフォーム分野で第 3 四半期以降にずれ込んだ案件があり、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、繊維・アパレル事業の売上高は3億75百万円(前年同期比34.6%増)と増収し、営業損失19百万円(前年同期は営業損失20百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は205億9百万円(前期末は211億13百万円)となり、前期末に比べ6億3百万円減少(前期末比2.9%減)しました。主な要因は、テナントからの預り金の支払や消費税の納付などによる現金及び預金の減少1億92百万円、減価償却などによる有形及び無形固定資産の減少2億74百万円であります。

負債の残高は158億53百万円(前期末は164億66百万円)となり、前期末に比べ6億13百万円減少(前期末比3.7%減)しました。主な要因は、仕入債務の支払などによる支払手形及び買掛金の減少1億18百万円、約定弁済による短期及び長期借入金の減少3億3百万円であります。

純資産の残高は46億56百万円(前期末は46億46百万円)となり、前期末に比べ9百万円増加(前期末比0.2%増)しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加2百万円、為替レートの変動による為替換算調整勘定の増加8百万円であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億38百万円のプラス(前年同期比91.1%増)となりました。これは主に、減価償却費2億87百万円、売上債権の減少2億23百万円、棚卸資産の減少60百万円、仕入債務の減少1億50百万円、預り保証金の減少39百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、14百万円のマイナス(前年同期は97百万円のマイナス)となりました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出14百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億17百万円のマイナス(前年同期は3億17百万円のマイナス)となりました。これは主に、長期借入れによる収入8億13百万円、長期借入金の返済による支出11億17百万円によるものであります。

これらの各活動の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は10億50百万円(前年同期比8.0%減)となり、前期末に比べ1億92百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年5月13日発表の予想数値に変更はありません。なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,253,143	1,061,139
受取手形及び売掛金	660,583	443,446
棚卸資産	760,658	823,632
その他	51,095	62,248
貸倒引当金	△1,170	△990
流動資産合計	2,724,309	2,389,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,360,027	8,118,203
土地	9,265,726	9,265,726
その他（純額）	138,900	110,738
有形固定資産合計	17,764,653	17,494,668
無形固定資産		
のれん	156,889	149,685
その他	18,135	21,309
無形固定資産合計	175,025	170,994
投資その他の資産		
投資有価証券	325,088	328,995
破産更生債権等	83,256	83,256
繰延税金資産	52,675	58,667
その他	68,716	64,019
貸倒引当金	△80,228	△80,228
投資その他の資産合計	449,509	454,710
固定資産合計	18,389,188	18,120,373
資産合計	21,113,498	20,509,850

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	419,907	301,449
短期借入金	607,992	577,992
未払法人税等	4,406	7,145
賞与引当金	46,074	46,826
株主優待引当金	26,000	—
その他	656,155	532,231
流動負債合計	1,760,536	1,465,645
固定負債		
長期借入金	10,276,630	10,002,634
長期預り保証金	1,468,943	1,429,642
再評価に係る繰延税金負債	2,476,495	2,476,495
退職給付に係る負債	309,637	307,271
資産除去債務	55,147	55,440
その他	119,164	116,227
固定負債合計	14,706,019	14,387,711
負債合計	16,466,556	15,853,357
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	14,342	14,342
利益剰余金	△54,093	△51,954
自己株式	△9,781	△9,784
株主資本合計	50,466	52,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,054	△10,844
繰延ヘッジ損益	△80,341	△88,327
土地再評価差額金	4,664,864	4,664,864
為替換算調整勘定	9,894	18,680
その他の包括利益累計額合計	4,579,363	4,584,372
新株予約権	17,112	19,517
純資産合計	4,646,942	4,656,493
負債純資産合計	21,113,498	20,509,850

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2021年 4 月 1 日 至 2021年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 9 月 30 日)
売上高	1,938,619	1,945,814
売上原価	1,380,015	1,378,701
売上総利益	558,604	567,113
販売費及び一般管理費	463,539	476,978
営業利益	95,064	90,134
営業外収益		
受取利息	30	48
受取配当金	3,600	3,513
その他	580	990
営業外収益合計	4,211	4,552
営業外費用		
支払利息	86,782	90,443
持分法による投資損失	829	303
その他	5,048	4,003
営業外費用合計	92,660	94,749
経常利益又は経常損失(△)	6,614	△63
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	6,614	△63
法人税、住民税及び事業税	462	3,789
法人税等調整額	1,356	△5,991
法人税等合計	1,818	△2,202
四半期純利益	4,796	2,139
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,796	2,139

四半期連結包括利益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2021年 4 月 1 日 至 2021年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 9 月 30 日)
四半期純利益	4,796	2,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,755	4,209
繰延ヘッジ損益	11,174	△7,986
為替換算調整勘定	3,801	8,786
その他の包括利益合計	22,731	5,009
四半期包括利益	27,528	7,148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,528	7,148
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	6,614	△63
減価償却費	293,424	287,390
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△100	△180
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,051	751
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△22,000	△26,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△254	△2,366
受取利息及び受取配当金	△3,630	△3,561
支払利息	86,782	90,443
持分法による投資損益(△は益)	829	303
売上債権の増減額(△は増加)	256,677	223,836
棚卸資産の増減額(△は増加)	△97,181	△60,984
仕入債務の増減額(△は減少)	△135,703	△150,383
預り保証金の増減額(△は減少)	△42,200	△39,300
その他	△198,617	△92,870
小計	148,693	227,015
利息及び配当金の受取額	3,630	3,561
利息の支払額	△78,222	△90,800
法人税等の支払額	△1,475	△999
営業活動によるキャッシュ・フロー	72,625	138,777
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△97,971	△14,477
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97,971	△14,477
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	813,624
長期借入金の返済による支出	△303,996	△1,117,620
リース債務の返済による支出	△10,922	△10,922
その他	△3,000	△2,561
財務活動によるキャッシュ・フロー	△317,918	△317,480
現金及び現金同等物に係る換算差額	856	1,176
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△342,407	△192,004
現金及び現金同等物の期首残高	1,485,228	1,242,958
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,142,821	1,050,954

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第 2 四半期連結累計期間(自 2021年 4 月 1 日 至 2021年 9 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	繊維・ アパレル事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	137,586	594,921	278,910	1,011,419	—	1,011,419
その他の収益	927,200	—	—	927,200	—	927,200
外部顧客への売上高	1,064,787	594,921	278,910	1,938,619	—	1,938,619
セグメント間の内部売上高 又は振替高	228	26	110	364	△364	—
計	1,065,015	594,947	279,021	1,938,984	△364	1,938,619
セグメント利益又は損失(△)	378,464	△7,681	△20,544	350,237	△255,173	95,064

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△255,173千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第 2 四半期連結累計期間(自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 9 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	繊維・ アパレル事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	143,073	490,096	375,389	1,008,559	—	1,008,559
その他の収益	937,255	—	—	937,255	—	937,255
外部顧客への売上高	1,080,329	490,096	375,389	1,945,814	—	1,945,814
セグメント間の内部売上高 又は振替高	228	—	—	228	△228	—
計	1,080,557	490,096	375,389	1,946,042	△228	1,945,814
セグメント利益又は損失(△)	402,656	△26,611	△19,165	356,880	△266,745	90,134

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△266,745千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。